

順位	氏名（議席）	発言の要旨
9	杉山 幸宏（2）	<p>1. 富士総合運動公園野球場の改修について</p> <p>富士総合運動公園は、富士山を望む大淵地区に位置し、昭和48年から段階的に整備が進められて、市民のスポーツ活動の拠点となる総合的な運動公園を目指し、富士市民の健康増進やスポーツ振興の拠点となっております。</p> <p>野球場（富士球場）が昭和51年に竣工して以来、水泳場（温水プール）、陸上競技場、テニスコート、相撲場、弓道場、サブグラウンドなど順次整備されてきました。平成14年には国際公認プールを備えた静岡県富士水泳場がオープンし、昨年4月には富士市総合体育館北里アリーナ富士が完成し、多くの市民や団体が利用し、また、プロスポーツや国際大会の開催、市内外から多くの人々が訪れて、スポーツウェルネス交流ゾーンとしての真価が発揮されてきています。</p> <p>しかし、施設の中で最初に整備された野球場は、オープンから50年近くが経過し、老朽化が深刻な課題となっております。令和元年には富士野球連盟を中心に2万6000筆余りの署名を添えた新球場建設に関する要望書も提出されました。</p> <p>こうした中、令和6年7月には、修繕不能となっていたスコアボードがフルカラーLEDの最新型へと更新されました。このスコアボードは野球以外の用途にも活用可能であり、適切なメンテナンスにより今後20年は利用できるとされています。</p> <p>私は、この最新設備のスコアボード導入が、野球場全体の抜本的な改修に着手する絶好の機会であると考えます。</p> <p>そこで、以下の点について質問します。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 野球場全体の老朽化に対する現状認識について (2) スコアボード更新の効果と波及性について (3) 段階的な改修ロードマップの総合計画への反映について <p>2. 左富士臨港線の進捗状況と今後の見通しについて</p> <p>本市の南北を貫く基幹路線である左富士臨港線は、特に青葉台地区において生活環境の向上と渋滞緩和に直結する極めて重要な路線です。しかしながら、昭和40年の都市計画決定から、社会情勢や優先順位の変化により、青葉台工区は完成したものの、いまだ全線開通に至らず、実に60年という歳月が経過いたしました。この長期にわたる未整備は、周辺住民の生活基盤を脅かす深刻な事態を招いています。私は町内会長として、地域の方々から「一体いつになったら完成するのか」「いつまで待てばいいのか」という声を日々受けています。</p> <p>特に、青葉台東工区の未開通区間においては、本来そこを通るべき車両が抜け道として通学路である狭隘な生活道路へ大量に流入しています。私自身、この付近の通学路に立ち、現場の状況を注視してまいりました。そこでは、徒歩で登校する青葉台小学校の児童や吉原第二中学校の生徒、富士市立高校、吉原工業高校、富士東高校の生徒たちが自転車で通学しており、そのすぐ脇を猛スピードで車両が通り抜けたり、急ブレーキの音がしたりするなど、極めて危険な光景を肌で感じています。保護者や地域住民からは「いつ重大事故が起きてもおかしくない」と不安の声が上がっています。</p> <p>毎年、市長行政懇談会においても議題として提起していますが、国の交付金減少に伴う事業計画変更で、令和7年度も道路築造工の延長が90メートルから約40メートルとなるなど、工事の遅れに懸念を持っています。児童生徒、</p>

順位	氏名（議席）	発 言 の 要 旨
9	杉山 幸宏（2）	<p>そして地域住民の命を守るこそが行政の最優先事項であると考えます。</p> <p>以上の現状を踏まえ、以下質問いたします。</p> <p>(1) 現在の進捗状況と今後のスケジュールについて</p> <p>(2) 狭隘な生活道路への車両の大量流入に対する安全対策について</p> <p>(3) 青葉台東工区の横断歩道や信号機の適正な設置について</p>